



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成30年9月30日発行



▲関東大会出場の水泳部



▲関東大会出場の選手たち

◀全国大会出場の選手たち

▼第100回全国高校野球選手権栃木県大会にて準優勝の硬式野球部



平成30年

9/30

第57号

○「21世紀と地球環境」 学校長 岡部 宣男	2ページ
○平成31年度入試要項	3ページ
○関東大会	4~5ページ
○高校総体・総文祭	6~7ページ
○本校舎トピックス	8~9ページ
○富田キャンパストピックス	9~10ページ
○白鷗大学だより	11ページ
○PTAだより・一日体験学習	12ページ



21世紀と地球環境

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

東日本の今夏（6～8月）の平均気温は平年より1・7度高く、1946年の統計開始以降、最も暑い夏となりました。熊谷市で観測史上最高の41・1度を記録し、全国の927の観測地点のうち202地点で過去最高の気温を記録、台風は観測史上最多タイの18個発生。そのうち半数の9個が8月に発生しました。気象庁は「異常気象が続き記録づくめの夏」と総括しました。

世界の今夏の気候を見ても、インド・ケララ州で今世紀最大のモンスーン、中国広東州で連日の豪雨による大洪水、スウェーデンやカナダでの森林火災など、異常気象とそれに伴う様々な災害が発生しています。

地球の気候変動の原因の一つに地球温暖化があると言われていきます。このことは21世紀を担う私たちにとって、とても大きな、避けて通れない問題です。

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの主たるものは二酸化炭素（CO₂）です。そして生命体は酸素（O₂）を取り入れて、CO₂を排出し、このCO₂は葉緑体を持つ植物によってO₂と炭水化物に変えられます。また、海水にも多量のCO₂が吸収されます。このようにして大気中のCO₂の濃度はほぼ一定（約0・03%）に保たれています。

しかし、ここ100年の間に世界は、急速な科学技術の進歩と、経済活動の活発化により大量のエネルギーを消費するようになりました。このエネルギーの約8割は化石燃料（石油・石炭・天然ガス）によるものです。化石燃料は燃焼すると大量のCO₂を生成し、全世界で年間334億トンほどのCO₂が大気中に排出されてしまっています。

こうした地球環境を整え、温暖化を食い止めるために、世界各国の首脳たちは国連主導のもと「ルブリュク」を始めました。

1972年6月、「かけがえのない地球」（Only One Earth）というスローガンのもと、スウェーデンのストックホルムで「国連人間環境会議」が開催されました。環境問題に初めて世界的に取り組んだこの会議には、世界113ヶ国が参加しました。国連は、気候変動に関する研究組織を発足させ、研究・観測・調査・実験などを行いました。その結果、1992年



入学式での学校長式辞

に科学者たちは、地球温暖化は局地的な大洪水、干ばつ、熱波、寒波などの異常気象を引き起こし、経済活動に大きな影響を及ぼすだろうと警告。国連は、大気中の温室効果ガスの濃度を気候体系に危害を及ぼさない水準で安定化させることを目的として「国連気候変動枠組条約」を作成したのです。

1997年12月、京都で開催された第3回の締約国会議（COP3）において、「京都議定書」が作成されました。そして、先進国に対して、温室効果ガスの排出量を2008～2012年の間に全体として5・2%削減するという法的拘束力を持つ目標を設定しました。国別に削減目標があり、日本は6%でした。日本は2002年に批准し、2005年「京都議定書」は発効されました。日本ではこれをもとにCO₂排出削減運動が展開され、「ハイブリット車」や「クールビズ」などが注目されるきっかけとなりました。

ところがその後、発展途上国の経済成長が急激に進み、エネルギー使用と温室効果ガス排出量が先進国を上回るようになりました。そこで、2015年、1996の国と地域がパリで会議を開き、世界全体として、次の二つの目標を掲げて努力することが決まりました。

○「産業革命前からの気温上昇を2度より十分低く保つ。平均気



真剣な面持ちの新入生

温上昇を1・5度未満に抑える努力をする」

○「そのために、21世紀後半に世界の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」

この目標達成のために、各国には「自主的な削減目標を国連に提出」し、「達成のため、削減に向けた国内の対策を取ること」が義務付けられ、日本は2030年までに温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することを目標にしました。この協定を「パリ協定」といい、2016年11月に発効され、法的拘束力を持つようになりました。

私たちが取り巻く環境問題を考えると、世界や国のレベルだけではなく、私たち一人ひとりが「具体的に何かをしたい、しなければならぬ」と考えます。21世紀を担う地球人として、私たちは気軽にできることから、地球に優しいことを始めましょう。環境問題こそ、解決に向けて個人で貢献できることがあると思うのです。

入試相談会 (中学校3年生と保護者対象)

	本校舎	富田キャンパス	埼玉会場
期日	11月4日(日) 11月10日(土) 12月1日(土)	11月3日(土) 11月23日(金)	10月22日(月) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 10月25日(木) ワークヒルズ羽生 17:00~20:00 11月8日(木) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 11月17日(土) ワークヒルズ羽生 10:00~15:00 11月24日(土) 市民プラザかぞ 10:00~15:00
時間	9:00~12:30	9:00~12:30	

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日時においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールでお願いします。✉ nyushi@hakuoh.ed.jp

なお今年度も左記のとおり入試相談会を実施します。お気軽にご来校ください。

平成31年度入試要項が下記のように決まりました。本年度よりインターネットのみの出願となりますのでご注意ください。詳細につきましては、本校ホームページ、または本校の入試要項でご確認ください。

平成31年度 入試要項決まる

平成31年度入試要項

	試験別	コース(入学校舎)	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	学業特待生入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	平成31年 1月5日(土)	国・社・数・理・英	平成30年 11月27日(火)~12月9日(日)	平成31年 1月10日(木)
	特別進学コース入試(単願)	特別進学コース(富田キャンパス) 不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。		国・社・数・理・英 面接		
	単願推薦入試	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		
	運動部・文化部特待生入試(単願)	文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)	平成31年 1月5日(土) 平成31年 1月6日(日)	国・数・英・面接 実技		
第2回入試	学特ランクアップ入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	平成31年 1月27日(日)	国・数・英	平成31年 1月11日(金)~17日(木)	平成31年 1月31日(木)
	一般入試(併願)	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		

一日体験学習に、
生徒2410名
保護者1516名
が来校しました。

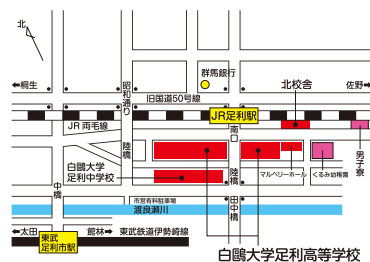
8月25日(栃木県内の方)
26日(栃木県外の方)
〈於 本校舎・富田校舎〉



白鷺大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および葛生方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067
TEL.0284-91-2633



白鷺大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利市駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2
TEL.0284-41-0890(代)
HPアドレス: <http://hakuoh.jp/>

関東大会

インターハイに向けて

9部140名が出場

陸上競技部

初出場種目、男女がインターハイ出場

6月15〜18日、群馬県前橋市の正田醤油スタジアム群馬で関東高校陸上競技大会が開催され、本校から総勢38名がインターハイ出場の北関東地区枠獲得を目指し、熱戦を繰り広げました。



女子七種競技200m先頭を走る佐々木さん

3の3佐々木菜摘さん（小山城南中）が大健闘の3位、そして男子110障害で普通2の1吉田龍生君（佐野北中）も6位に食い込み、見事三種目でインターハイ出場権を獲得しました。本大会では猛暑に負けることなく力強く戦ってくれることを期待します。

柔道部

男子団体戦、優勝校に敗れるも、5位入賞

6月2〜4日、東京武道館において第66回関東高等学校柔道大会が開催され、本校からは男子団体が1チーム、個人戦に女子2名が出場しました。

非常にレベルの高い大会で、個人戦はあと一歩及ばずという残念な結果に終わってしまいました。しかし団体戦では、優勝校の木更津総合高校と紙一重の勝負をするなど、粘り強く戦い抜き、団体戦5位入賞という成績を残しました。目標には届かなかったものの今後

□男子団体戦出場メンバー
普通3の1 加藤 瑠君（足利一中）
普通3の2 長谷川明伸君（大山口中）
普通3の3 齋五澤航介君（足利一中）
文理3の3 宇賀神圭太君（足利一中）
普通2の1 澤口 宗志君（十二月田中）
普通2の2 杉原 龍聖君（足利一中）
文理2の4 萩内 暁君（喜連川中）

□女子個人戦出場メンバー
普通3の1 大場 栞花（足利一中）
普通3の4 浅野 虹花（岩舟中）

のインターハイ予選に弾みをつける大会となりました。今後は一つひとつの課題点を修正し、より良い結果を出せるよう、日々精進していきます。



団体戦5位入賞メンバー

ボクシング部

山田君、高橋さん、リファイバーさん第3位

第60回関東高等学校ボクシング大会（6月1〜4日、水戸桜ノ牧高等学校常北校）に本校からは、ピン級で総進1の2山田楓海君（大平南中）、フライ級で文理2の4木村鴻汰君（佐野北中）、ライトウェルター級で普通2の1田中大介君（美田中）、ウェルター級で文理3の1小泉大地君（富田中）、女子ライトフライ級で文理3の2高橋伶奈さん（小山三中）、女子フライ級で総進3の2上原花

剣道部

関東大会男女団体出場

4月25・26日に行われた関東大会県予選会において、男子団体は2年連続2回目、女子団体は創部以来の初出場を決めました。

本大会は、6月8〜10日に宇都宮市プレックスアリーナにて行われました。女子団体は予選リーグで淑徳巣鴨高校（東京都）と、市立柏高校（千葉県）と対戦し2敗力の差を感じる結果となりました。男子団体は、予選リーグで弥栄高校（神奈川県）と土浦湖北高校（茨城県）と対戦し、リーグを突破した土浦湖北高校に引き分け、善戦しながらもあと一歩のところまで予選リーグ敗退となりました。

梨さん（足利三中）、女子バンタム級で総進2の1リファイバー仁菜さん（佐野北中）の7名が出場しました。結果は、山田君、高橋さん、リファイバーさんが第3位となりました。山田君は軽快なフットワークをベースに右ストレートと左フックでポイントを重ね、1年生ながら初戦を突破しました。高橋さん、リファイバーさんも共に勝ちましたが、準決勝で惜しくも僅差のポイント負けとなっていました。山田君はこの大会の結果でインターハイ出場が決まり、女子の2人も全日本



大会会場にて



左から山田君、木村君、田中君、小泉君、高橋さん、上原さん、リファイバーさん

女子選手権大会への出場が決まっています。これからも勝利を目指して頑張りますので、引き続きご声援をよろしく願います。

男女揃って初の関東大会出場となった今大会では、様々な課題や強豪校との違いを実感することができました。更なる好成績を残せるよう日々の稽古からより意識を高めて、男女揃って関東大会や全国大会に出場、さらには入賞ができるよう精一杯努力をしていきます。

女子ソフトボール部

2回戦で敗退

6月2・3日に、山梨県笛吹市春日居スポーツ広場において、関東高等学校女子ソフトボール大会が開催されました。

1回戦は、地元の甲斐清和高等学校と対戦しました。先攻でスタートした初回、1番の総進1の岡崎桃子さん(中島中)の出塁から得点に繋げ2点を先制し、そのまま2対0で快勝。2回戦へと駒を進めました。2回戦は、埼玉栄高等学校と対戦。両者得点を許さず、緊迫した試合展開となりました。そして、延長八回タイブレーカーに入り、相手上位打線に3点を許し、その裏1点しか掴むことができず、2回戦敗退という悔しい結果となりました。



三塁手 主将の丘さん

今大会は、主将の普通3の丘安里さん(三島中)が、練習から常に声を出して下級生を引っ張り、チームをまとめる姿が印象的でした。

た。この3年生の思いを、後輩たちが受け継いでくれると思います。たくさんのご声援を頂き、ありがとうございました。

女子ソフトテニス部

団体戦第5位入賞

6月1〜3日、茨城県水戸市総合運動公園テニスコートにおいて関東高校ソフトテニス選手権大会



サーブを打つ 普通3の1 石川舞衣さん(大間々中)

が行われ、本校からは団体戦と個人戦で6ペアが出場しました。

個人戦は出場した6ペアがトータルで1勝と全く振るいませんでした。個人戦の結果を反省しつつ、切り替えて臨んだ次の日の団体戦は2回戦からの登場で、初戦は富士河口湖高校(山梨県)に3対0で勝利しました。続く準々決勝では埼玉平成高校(埼玉県)に0対2で敗れてしまいました。第5位入賞を果たすことができました。今大会の反省を今後に活かし、これからも精進していきたいと思えます。ご声援、ありがとうございます。

水泳部

一泳入魂

7月21〜23日、神奈川県横浜国際プールにて、第69回関東高等学校選手権水泳競技大会兼第86回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会が開催され、本校からは20名が出場しました。

一人でも多くインターハイに出場できるように、チームが一つになつて練習に励み、戦ってきました。その結果、文理3の2中根千聖さん(足利一中)が200メートル平泳ぎで、文理2の3中里圭佑君(桐生中央中)が1500メートル自由形で、普通2の4磯野稜介君(山辺中)が200メートル背泳ぎで、文理1の1竹澤天音さん(小山三中)



出場した水泳部員

が1000メートル背泳ぎで、中根さん、竹澤さん、文理1の3小川美優奈さん(今市中)、文理1の4長莉奈さん(佐野北中)が400メートル

ドレーリレーで標準記録を突破し、インターハイ出場を決めました。インターハイでも悔いのないレースができるよう、精一杯頑張つてきます。

男子ソフトボール部

エースの負傷。初戦で敗退

6月2・3日、山梨県笛吹市いちのみや桃の里スポーツ公園で関東高等学校男子ソフトボール大会が開催されました。

初戦の相手は茨城県の多賀高校でした。初回、進学2の4諸星和樹君(桐生中央中)の適時打で1点を先制し、良いスタートが切れました。多賀高校もその裏には2点を返し、四回まで1対2の好試合となりました。しかし、好投していたエースの進学3の3神村純平君(白鷲足利中)が腕の痛みから交代となり、六回以降、9失点を喫しました。結果はエースの負傷をカバーできずに、1対13の大敗となりました。多くのご声援本当にありがとうございました。



試合中、監督の指示を受ける選手たち

体操部

女子団体・男子個人で出場

6月8〜10日にかけて群馬県のアLSOKぐんまアリーナにおいて関東大会が開催され、女子は団体出場、男子は個人で進学2の3秋田詠大君(足利二中)が出場しました。



大会会場にて

女子は2年ぶりの団体出場で、1年生2人を含むメンバーでしたが、3年生を中心に自分の持っている力を十分に発揮した演技をすることが出来ました。秋田君は2年連続の出場ということもあり、落ち着いた演技で昨年を上回る点数を出すことができました。

今回の経験を活かし、さらに高い目標を持って精進していきます。

女子団体出場メンバー

文理3の2 亀田 雪乃さん(田沼東中)
文理1の4 戸田 彩楓さん(大平南中)
総進1の1 飯田 舞香さん(宮郷中)

2018 彩る感動 東海総体

翔べ誰よりも高く東海の空へ

2018 信州総文

みすずかる信濃に若木は競い森を深める山脈渡る風に種子を拓げて



柔道部

三重で躍動！男子団体戦3位入賞

8月7～12日にかけて、三重県津市サオリーナ体育館にて、第67回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会が開催されました。本校からは団体戦で6名、個人戦で6名が出場しました。



準決勝の様子

団体戦は2回戦からの登場で、和歌山県代表の箕島高校と対戦し

陸上競技部

女子やり投げで決勝の舞台へ

8月2～7日まで三重県伊勢市三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場で全国高校総体陸上競技大会が行われました。本校からは、男子110ハイドルに普通2の1吉田龍生君（佐野北中）、女子やり投げに文理3の2毛塚玲奈さん（栃木南中）、女子七種競技に

ました。序盤から積極的に技を仕掛け、4対1で勝利しました。3回戦は関東大会で敗れた千葉県代表の木更津総合高校と対戦しました。メンバー各自が反省点を修正し粘り強く戦い、2対2の内容勝ちで接戦をものにしました。準々決勝では大会開催県である三重県代表の名張高校と対戦しました。一進一退の攻防が続き大将戦までもつれ込みましたが、主将の普通3の3齋五澤航介君（足利一中）の豪快な小外刈りが一本となり、2対2の内容勝ちで準決勝進出を決めました。準決勝では東京都代表の国士館高校に敗れましたが、体格差をもとめせず、最後まで勇敢に戦い抜きました。

個人戦においては、あと一歩及ばずという結果に終わってしまいました。団体戦3位という結果を自信とし、今後も全国制覇に目標として、日々精進します。

文理3の3佐々木菜摘さん（小山城南中）が参加しました。気温が38度を超える猛暑の中での大会となりました。

佐々木さんは2日間で七つの種目で勝負する七種競技で最後まで全力で戦い抜きました。2年生として出場の吉田君は、来年につながるレースをすることができました。来年はチームを引っ張る存在になってくれると思います。初の

- 団体戦出場メンバー
- 普通3の2長谷川明伸君（大山西中）
 - 普通3の3齋五澤航介君（足利一中）
 - 文理3の3宇賀神圭太君（足利一中）
 - 文理3の2河村 祥克君（真岡中）
 - 普通2の1澤口 宗志君（土月田中）
 - 文理2の4杉之内 颯君（喜連川中）
- 個人戦出場メンバー
- 普通3の1大場 亮 充（足利一中）
 - 普通3の2長谷川明伸君（大山西中）
 - 普通3の3齋五澤航介君（足利一中）
 - 普通3の4金井 亮哉君（協和中）
 - 普通3の4浅野 虹充（岩舟中）
 - 普通2の2津端 洗君（土月田中）

ボクシング部

山田君、初の全国大会！

平成30年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会第72回全国高等学校ボクシング選手権大会（8月1～7日、OKBぎふ清流アリーナ）に本校からは、関東予選を勝ち抜き、ピン級で総進1の2山田楓海君（大平南中）が出場しました。

1年生ながら全国大会のリングに立った山田君は、1回戦に意気

全国大会となる毛塚さんは、臆することなく予選から自己ベストを更新し、投てき種目では、本校初となる決勝進出の快挙を達成してくれました。決勝では11位と、惜しくも8位入賞には届きませんでした。高校から始めたやり投げで全国の決勝舞台に立てたことはいい経験となったと思います。今後全国で活躍できるように陸上部全員で頑張っていきたいと思



やり投げで決勝進出の毛塚さん



出場した山田君

揚々と挑み、相手との打ち合いにも果敢に攻め込みましたが、残念ながら惜しくもポイント負けとなり勝利を収めることはできませんでした。全国のレベルを知った山田君ですが、インターハイ後は、以前にも増してサンドバックやミット打ちの音が鳴り響いており、さらに気合いの入った練習をしています。次の大会に向け相手にももちろんですが、自分自身に気持ちで負けないように日々努力を怠らずに頑張っていけます。引き続き、ご声援をよろしく願っています。

います。

水泳部 一泳入魂

8月17～20日、愛知県日本ガイシアリーナにて、平成30年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会第86回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催されました。本校



力泳する中根さん
(一番手前)

女子ソフトテニス部 大久保三好ペアが個人戦でベスト16

7月30日～8月2日、三重県三重交通Gスポーツの杜鈴鹿庭球場で、全国高校総合体育大会ソフトテニス競技(女子)が開催され、本校からは個人戦で文理3の4大貫真比呂さん(藤岡二中)・普通



個人戦を戦う
大貫さん(右)・堀口さん(左)ペア

からは、文理3の2中根千聖さん(足利一中)が200メートル平泳ぎ、文理2の3中里圭佑君(桐生中央中)が1500メートル自由形、普通2の4磯野稜介君(山辺中)が200メートル背泳ぎ、文理1の1竹澤天音さん(小山三中)が100メートル背泳ぎ、中根さん、竹澤さん、文理1の3小川美優奈さん(今市中)、文理1の4長莉奈さん(佐野北中)が400メートルドレーリレーに出場しました。ほとんどの選手が初出場のなか、いつもとは違う雰囲気になりながらも、最後まで諦めずに戦いました。残念ながら決勝進出はなりませんでしたが、

3の1堀口賀代さん(塚沢中)ペア、普通2の1大久保由希さん(下妻中)・総進1の5三好夏未さん(壬生中)ペアの2ペアが出場しました。大貫・堀口ペアは初戦となる2回戦を逆転勝ち。難しい初戦を勝利したことで、このまま勢いに乗って自分たちの力を発揮するかと思われましたが、3回戦で敗退してしまいました。大久保・三好ペアは苦しい初戦(2回戦)をファイナルで勝利すると、その後は自分たちの力を存分に発揮し、4対0、4対1、4対1と勝利。安定した戦いぶりです。しかし、その一戦では早い段階でミスが出てしまい、これまでのよう

な試合ができず0対4で敗退。ベスト8の壁の高さを痛感すると同時に、全国でも戦うことができる自信を得た大会となりました。チームは今大会の経験を糧にして、また来年のインターハイを目指します。



インターハイに出場した水泳部員

この悔しい経験を活かし、来年に向けて気持ちを新たにしていきたいと思えます。来年は今年以上の結果を出せるように、また、全国の舞台でも入賞できるようにチーム



大会会場にて

この悔しい経験を活かし、来年に向けて気持ちを新たにしていきたいと思えます。来年は今年以上の結果を出せるように、また、全国の舞台でも入賞できるようにチーム

ムが一つになって目標に向かって切磋琢磨し、頑張っていきたいと

思います。たくさんのご声援ありがとうございました。

全国高等学校総合文化祭

バントワリントン部 フィールザマジック

バントワリントン部の2、3年生は、長野県で行われた第42回全国高等学校総合文化祭(信州総文)に出場しました。

8月7日のパレード部門では、富山県合同マーチングバンドの演奏に合わせて、松本城近くの通りをパトンの演技をしながらパレードしました。沿道に集まったたくさんの方々に、笑顔で楽しさを伝えたいと思いながら演技をしました。沿道の方たちの笑顔とたくさんの拍手で、逆に私たちが元気を頂きました。

9日のバントワリントン部門は、長野市の「エムウエーヴ」という冬季オリンピックで使用された素材



衣装を着てポーズを取る部員たち



松本城の前で撮った集合写真

ら毎月2回の合同練習や合宿を経て、演技を合わせて来ました。合同での苦労もありましたが、本番では学校の壁を越え、一体感を味わいながら演技をすることができ、感動しました。また、全国トップレベルのチームの演技も見ることができ、とても勉強になりました。

□団体出場メンバー
文理3の3 茂木 南菜々(休泊中)
文理2の1 後藤 瑞聖(足利二中)
文理2の3 小林 多恵(あずま中)
普通2の2 黒崎 舞(境南中)

本校舎トピックス

学習合宿 初めての学習合宿

「そんなに勉強できるのだろうか」「できっこないよ!」

夏期補習が終わった翌7月27日、文理進学コースの1年生が学習合宿のため志賀高原へ出発しました。1日11時間という学習を2泊3日で実践し、夏休み中の学習習慣を身につけることが目的で、食事とお風呂以外はひたすら学習です。1日目は元気に学習に臨み、おいしい食事に会話が弾みました。田中貴大先生(数学)による講演を聴講し、進路についての心構えを学びました。



講演の様子

2日目からは、少しずつ疲れが見え始めましたが、休憩をはさみながら、英語・数学・国語の授業と自習をこなしました。自習時間



学習の様子

信と学習への意欲を2学期以降の取り組みに活かせることを期待します。

新入生歓迎球技大会 ドッジボール大会

本校舎では5月29日に本校舎新入生歓迎球技大会が晴天の中、開催されました。

全学年ともドッジボール競技を男女別に実施し、熱戦が繰り広げられました。各クラスが戦術をそれぞれ工夫して、「1勝でも多く」を目標に、勝利を意識して集中して競技に没頭する姿は清々しいものでした。



試合風景

この新入生球技大会が、今後のクラスの団結力に繋がることを期待します。

平成30年度 球技大会入賞クラス

学年	順位	男子	女子
1学年	優勝	総合進学コース1組	文理進学コース1組
	準優勝	総合進学コース5組	文理進学コース3組
	第3位	総合進学コース2組	文理進学コース2組
2学年	優勝	普通コース4組	普通コース4組
	準優勝	普通コース2組	総合選択コース1組
	第3位	普通コース1組	普通コース3組
3学年	優勝	普通コース2組	普通コース3組
	準優勝	普通コース1組	文理進学コース3組
	第3位	普通コース4組	普通コース1組

大学見学 専門授業の難しさ

6月19日、高大連携の一環として総合選択コース書道系22名が大東文化大学書道学科東松山キャンパスを見学し、書道実技の講義に参加しました。まず、大学の講義と高校の授業の専門的な内容の違いに驚きまし

た。また、大学生の文字に対する接し方や表現の仕方に自分たちの未熟さを実感し、大学生の筆運びに圧倒されました。

講義の合間に大学3年生の書作品を見学し、中でも本校卒業生の兵藤稜典君(日29総選卒業)の作品に感動と驚きを覚えました。この経験が今後の授業に反映させ、一字一字を大切に表現することや、「一筆入魂」の意味を今まで以上に考えて授業に取り組んでいきたいと思っています。



兵藤君の作品

短い時間でしたが、自分たちの書に向かう姿勢を考える良いきっかけとなりました。

商業コース 検定合格状況

「平成」最後の夏が終わり、新学期がスタートしました。二学期には多くの学校行事が予定されていて、学校生活でも充実した日々を送る事ができる大切な時期であると思います。商業コースでもインターンシップをはじめ多くの検定試験が実施されます。一学期に

チャレンジ出来なかった検定や残念ながら不合格となってしまう検定にリベンジしてもらいたいと思います。では、一学期に実施された検定試験で上級に合格した生徒を紹介いたします。(他コースも含む)

- 全商ビジネス実務検定一級合格**
 商業3の1 堀江 日人君(古河二中)
 大川 凜亮(清流中)
- 全経電卓計算能力検定一級合格**
 商業3の1 石川 拓真君(坂西中)
 商業3の2 荻原 愛亮(大間々中)
 商業2の1 市村 大輝君(小山城南中)
 若杉ユミ亮(太田東中)
 商業2の2 奥井 駿輝君(大平南中)
 武井 新太郎君(古河一中)
 伏島 萌亮(山辺中)
 真下 歩亮(赤見中)
- 須永有梨亜亮(見沼中)
 小林 芙蓉亮(羽生西中)
 大場 彪斗君(佐野北中)
 大島 彩花亮(岩舟中)
 眞秀菜々子亮(協和中)
 川上いずみ亮(佐野城東中)

平成30年度1学期検定試験合格状況

検定名	人数	1級	2級	3級	4級
全商ビジネス 文書検定(7-7)	人数	9	18	22	1
	合格率	19%	34%	50%	33%
全商簿記検定	人数		7	40	
	合格率		27%	55%	
全経電卓検定	人数	9	16	4	
	合格率	28%	43%	36%	

また、一学期の検定試験合格状況は表の通りです。

本校舎
活躍する部活動

硬式野球部
10年ぶりの決勝進出で準優勝に！

7月6〜22日、第100回全国高等学校野球選手権記念栃木大会が開催されました。

シード校として2回戦からの試合となった本校は、初戦をさくら清修高校に7対4、3回戦、大田原高校に4対0で勝利。さらに



応援風景

準々決勝で文星芸大附属高校を3対2、準決勝で青藍泰斗高校を7対0で下し、10年ぶりに決勝戦に進出しました。決勝戦では、10年連続で決勝に進出している作新学院高校との対戦となりました。選手たちの夢である夏の甲子園への出場をかけて、全力をつくしましたが、序盤の失点が最後まで響き、0対2で敗退してしまいました。この大一番で勝利することはできませんでしたが、たくさんの応援が力となり、大会を通じて

選手たちも成長することができたと思います。この悔しさを忘れず、来年こそは甲子園出場を果たせるよう日々精進していきます。

インターアクト部
足尾植樹デーに参加

4月27日、本校舎の3年生6名、2年生6名が足尾植樹デーに参加しました。近隣の高校生も数多く参加し、足尾に緑を育てる会の方たちの協力のもと植樹を行いました。足尾はまだ、山肌が見えている場所が多く公害のあとが見られます。30分ぐらいかけて苗木とスコップを持ち斜面を登りました。生徒たちからは「私たちが1本の木を植えることで、数年後に少しでも緑が増えたら嬉しい。木の生長を楽しみにしながら、今後もこの活動を継続していきたい。」という声が寄せられました。その後、足尾銅山の坑内施設を見学し、公害の説明を伺い、環境保全への思いを強くしました。



急斜面での植樹風景

富田キャンパストピックス

理科教室開催

8月3日、久野公民館にて白鷗理科教室を白鷗中学校との共催で行いました。



色が変わる魔法の筆

久野地区の小学生を対象とした今回の理科教室では、「葉脈しおりの作成」や、「カラフルいくらの作成」、「化石レプリカの作成」

などの実験ブースや、「不思議な液体に触ろう」、「空気砲で射的をしよう」などの体験ブースなど、合計11個の実験・体験を用意しました。



カラフルいくら

葉脈しおりの作成では、あらかじめ処理をした葉っぱを歯ブラシでたたき取り出すことができます。参加した小学生たちがきれいに葉脈を取り出すと、一生懸命に葉っぱをたたいている様子が見られました。本校の生徒たちも、小学生とコミュニケーションを取

第18回青少年英語スピーチコンテスト
優秀賞受賞

6月19日に足利市民会館にて第18回青少年英語スピーチコンテストが開催されました。本校からは、特選2の1進藤蒼妥乃さん（山辺中）と特選1の2小川優衣さん（坂西中）が多数の応募者の中から予選を通過し、本選出場を果たしました。コンテストはリンカー

ン大統領が「人民の人民による人民のための政治」と演説したゲディスパーク演説を英語で発表することと「海外で紹介したい日本文化」について日本語で発表することで行われました。進藤さんは日本の食文化や作法について、小川さんは足利市の観光名所である物外軒庭園についてそれぞれ発表しました。その結果、進藤さんが優秀賞を



浮沈子のおもちゃ作り

りながら上手にサポートしていました。また、空気砲射的のブースでは、ペットボトルで作成した空気砲を使って、小学生と高校生が協力をして的を打ち落とそうとしている様子が見られました。高校生も小学生もとても楽しそうでした。今回の理科教室を通して、高校生は小学生と触れ合うことの楽しさや、教えることの大変さ、教えるたいことが伝わったときの喜びを実感したと思います。ここで得たものを普段の学校生活でも活かしてほしいと思います。



優秀賞受賞の進藤さん

受賞し、11月に、足利市の姉妹都市であるスプリングフィールドに派遣されることが決定しました。

学習合宿

3年

今年も、7月26～28日、伊香保温泉で3年生の学習合宿が行われました。代々木ゼミナールから講師の先生を招き、実践的な授業を受講する形式の合宿で、英語、国語、数学の3教科各50分の授業が7時間ずつ生まれ、生徒は、2教科または、3教科を希望して受講。授業では、事前に用意された予備校のテキストが使用されました。

開校式では、団長の湯澤先生から受験へのモチベーションを高めるための重要な合宿であるというお話があり、参加した3年生は、真剣に話を聞いていました。合宿が始まると、どの講師の先生方も熱心に授業を行ってください、時には予定の時間を超過してしまい休み時間が短くなってしまうこと



代々木講師による授業風景

もありました。また、授業の合間に、質疑応答の時間も設けてくださり、多くの生徒が、問題の疑問点のみならず、学習への取り組み方などについても熱心に質問していました。最終日の閉校式では、ホテルの方から、合宿への取り組み方が素晴らしかったという言葉を送りいただき、3年生にとっては実り多き合宿となりました。

2年

今年も、7月28～30日の日程で、志賀高原・高天ヶ原ホテルにて2泊3日の学習合宿が行われました。台風の接近に伴い天候が荒れることが懸念されましたが、被害もほとんどなく、参加を希望した84名の生徒たちは、清涼で閑静な環境の中で、1日10時間の学習に真剣に取り組むことが出来ました。

2回目の学習合宿ということもあり、苦手教科や課題に取り組むための自主学習をする時間と、教員による講義で理解を深めるための時間を上手く活用し、集中力を切らすことなく取り組む事が出来ました。また、質問コーナーを活用し、分からない問題でも積極的に取り組む様子が見られました。今回の学習合宿を一つの機会として、学習に対する取り組み方を改めて見直すことが出来たと思えます。合宿で得ることのできた学習習慣を継続させ、来年度に控え



2年 学習合宿の様子

た受験に向けて意識を高め、進路の実現のために頑張っていくことを期待しています。

1年

7月28～30日、富田校舎の1年生は、長野県の志賀高原で学習合

部活動紹介 女子サッカー部

富田校舎で活動している女子サッカー部は、現在3年生1人、



試合前の様子

宿を行いました。涼しく自然豊かな環境で充実した時間を過ごしてきました。一人ひとりが高い目標を持ち、自らの課題克服を目指し、また、得意分野の更なる向上に向けて努力している姿が見られました。

自主学習の確立を目的として取り組みましたが、7月に行われた進研模試の解説や英語の基礎演習と発展応用の授業も取り入れられました。生徒が躓きやすいところを本校教員が丁寧に解説し、受講した生徒からは、「分かりやすかった。」「なぜ自分ができなかったか理解した。」などの感想を聞くことができました。新テストが導入される最初の学年となるので、その他にも思考力や問題解決能力を向上させるプログラムも実施されま

2年生6人、1年生9人の計16人で日々の練習に取り組んでいます。2年前に初めて関東大会に出場しましたが、その後は県大会3位以上の成績を残せていません。春に行われたインターハイ予選も残念ながら4位に終わってしまいました。夏は様々なチームと練習試合に取り組み、山形県や宮城県へも遠征を行うことができました。今後の大会で、創部2回目となる関東大会への出場を目指して頑張っています。



練習風景

員で努力を続けていこうと思えます。



数学の授業風景



白鷗大学だより

PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

トビタテ！留学JAPAN派遣留学生に 経営学部が主催するトビタ テ！留学JAPANの「地域人材 コース」を利用した大学コンソ シアムとちぎが実施する「とちぎ グローバル人材育成プログラム上 級コース」に経営学部3年の小林 穂乃香さんが選ばれました。 また、群馬県太田市が実施する 「新田山グローバル人材育成事 業」に経営学部2年の峯崎和佳奈 さんが選ばれました。



小林穂乃香さん



峯崎和佳奈さん

約1年間、白鷗大学と交換留学協定を結ぶ台湾の銘傳大学に留学する小林さんは「多くのことを学び、栃木県の魅力を発信できるように頑張りたい」、経営学部の留学プログラムを利用し、約3ヶ月間カナダのヴィクトリア大学に留学する峯崎さんは「語学を学ぶとともに、留学先ではボランティアや聞き取り調査なども行いたい」とそれぞれ抱負を語ってくれました。

日本クレジット協会と教材用アニメを制作

一般社団法人日本クレジット協会と連携して、高校生にクレジットの仕組みなどを正しく理解してもらうための教育動画教材が制作されました。制作にあたっては、日本の3DCGアニメーションの開拓者の存在で、スタジオジブリCG室長などを経験した菅野嘉則教授の指導のもと、経営学部メディアアコースの学生が、ストーリーの企画や脚本、制作を担当し

ました。さらに同教授の呼びかけにより、著名な声優が動画内のさまざまなキャラクターを演じています。物語の舞台は、常に強風が吹く「惑星GALE星」。風に飛ばされないように重い現金が流通していましたが、主人公がクレジットカードの利便性を知り、導入しようとするなかでクレジットの仕組みや利用方法などを学んでいく内



制作した教材用アニメ「風の惑星～GALE～」

教育学部に特化したキャンパスへ

2019年秋までに整備

教育学部を中心に学ぶ「大行寺キャンパス」の再整備が今夏から始まりました。昨年からの第二体育館の取り壊しや「加藤澤男記念体操場」を新設してきましたが、JR小山駅東口前の本キャンパスが完成したことを受け、大行寺キャンパス再編計画が本格化します。1号館を教室棟から心理学専攻の演習室や、小学校の理科で扱う観察・実験を体験し教育方法について学ぶ理科室などの実習棟に変更します。そのほか4号館をピアノ関連の実習室に、1号館アネックス2階の大教室はダンス室に改修。旧短大校舎で老朽化した5号館から10号館までを取り壊します。さらに、正門

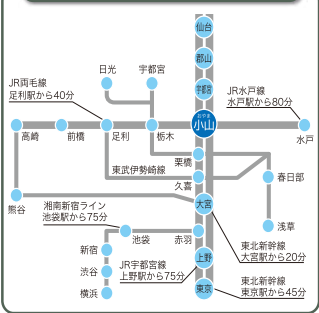
容です。本編は33分で、そのほかケーススタディ13分も収録しています。作品は同協会のホームページで視聴できるほか、DVD化され、全国の高等学校などに配布されています。菅野教授は「学生たちは約一年がかりで作品を完成さ



2019年秋以降の大行寺キャンパス完成予想図

付近のバスロータリーも利便性に合わせ改修し、2号館2階には教職支援室と実習指導室を配置し、教員をめざす学生に一貫したサポートを提供するフロアとなります。2019年秋までに工事を終える予定で、教育学部の学びの拠点に生まれ変わります。

白鷗大学へのアクセス



せた。よい経験になったのではないか。高校生をはじめ、若い世代に観てもらいたい」と話しています。

PTAだより

新しいコースの出發

PTA 会長 西場 伸一



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

432名の新会員の皆様をお迎えし、PTA入会式、PTA総会、支部懇談会と、重要な行事を無事終了する事ができました。これらひとえに会員の皆様のご協力と、各支部の役員の皆様のお骨折りの賜物と、改めて感謝申し上げます。

一日体験学習

8月25・26日の2日間、中学3年生を対象に「一日体験学習」が開催されました。両日で生徒・保護者合わせて、本校舎2070名、富田キャンパス1856名、合計3926名の参加があり、大盛況のうちに幕を閉じました。

本校舎

本校舎では、参加した中学生たちに興味と関心を持って欲しいと



ネットコースターの原理についての授業の様子

いう思いから、先生方が様々な工夫を凝らし楽しい授業が展開されました。例えば、電気分解を利用し針金で書道をする理科の実験や、歌からリスニングを学ぶ英語の授業などが行われました。

そして夏休み以降の行事では、3年に一度の「白鷗祭」が本校舎で開催されました。生徒の皆さんが趣向を凝らした各種研究発表や、屋台の出店などPTA会員の皆様にも楽しんでいただけた2日間ではなかったかと思えます。10月には富田校舎で体育祭が開催される予定となっております。大勢の生徒さんが、クラスリレーや綱引きなどに汗を流すことでしょう。PTA役員の皆様にも「賞品係」などをお願いすることになっておりますので、ぜひ楽しい1日をお過ごしください。

さて「白鷗大学足利高等学校」は今年度よりコースの再編が行われ、生徒さん一人ひとりにきめ細やかな進学サポート体制を強化するべく、コースの全てが進学を見据えた教育カリキュラムに変更されました。新入生の皆さんは新カリキュラムに期待をよせて毎日の勉学に励んでいってほしいです。

白鷗祭

9月21・22日、3年に一度の白鷗祭が開催されました。

さらに生徒会が作成した学校生活や施設などの紹介DVDも放映され、来校した中学生にとって充実した1日を過ごせたことと思います。

富田校舎

富田校舎では、全体説明としての富キャンライフと、13の模擬授業から一つ受講してもらおう形で実施しました。全体説明は、生徒会の説明が特に好評で、本校への理解をより深めてもらえたようです。高校での授業に親しんでもらいたいと実施した授業は、終了後に、



白鷗祭が開催されました。今回の白鷗祭は、創立百周年の佳節を経て、平成最後の学園祭となります。テーマは、文理3の3楹垣愛志君（小山二中）の「僕らが創る平成最後の青春」、またポスターは、文理1の1の宗片泰憲君（佐野南中）の作品が全校生徒の投票により選ばれました。

楽しい、分かりやすい、という感想が多く寄せられました。先生方の工夫を凝らした丁寧な授業と、在校生の明るく親切的な対応によって、富田校舎の良さを大勢の方々に感じてもらった2日間になりました。



「異文化理解」の講座の様子

文化祭となりました。詳細については次号にてお知らせいたします。

編集後記



西日本の豪雨災害や関西地方の台風被害、そして北海道の甚大な地震被害。今まで慣れ親しんだ風景を一瞬にして破壊し、多くの命を奪った自然の猛威に、私たちは自分たちの無力さをまざまざと見せつけられました。

当たり前にあったものを一瞬にしてなくなす恐怖や喪失感、体験したことのない私たちにとって、想像を絶するものにちがひありません。しかし、それは、誰にでも起こりうることなのです。そのことを心にとめて、「今」を精一杯生きていくことが私たちの使命なのかもしれません。

「平成」も残りわずか。「ちっぽけな存在である一人ひとりが、家族や友人、ひいては社会のために何ができるのか。」それを考え続けることは新しい時代を築いていく大きな力になるはずだ。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町三の二
0284-4110890
制作・(有)コーエイプロセス
発行日・平成30年9月30日